

情報と
お知らせ

温もりを届けたい、手からころへ.....

たまちゃん通信

日本のお手玉の会本部

〒792-0013 愛媛県新居浜市泉地町10番1号
TEL0897-32-0302 FAX0897-32-0311

お手玉の会本部へ次々と情報が入っています。ありがとうございます。

「たまちゃん通信」のお知らせが会員にとって心強いと、評判です。全国の会員の皆さん、さまざまな情報をぜひ本部宛へ届けてください。会員の絆を大切にするために、これからも多くの情報を発信していきたいと考えています。情報提供の方法は、「手紙・はがき・メール・FAX」などでお送りください。できれば写真など添えてくだされば幸いです。

忘れかけたお手玉が心の支えに

北海道新聞

2011年(平成23年)4月14日(木曜日)

心のケア おもちゃで



杉本さんが持参した積み木を組み立てて遊ぶ避難所の子供たち。7日、岩手県(杉本さん提供)

岩手に持参し奉仕 小樽の玩具店店主

小樽市住吉町の玩具店「キンダーリープ」店長の杉本英樹さん(49)が東日本大震災の被災者を元気づけようと、市民から募集したお手玉やおもちゃを持参し、岩手県でボランティア活動を行った。科学パフォーマンスの

お手玉を手渡すと、女性たちは歌を歌いながら

器用に放り投げ、笑顔をのぞかせた。

FAXでいただいたご紹介記事です。

日本のお手玉の会様

先日、「たまちゃん通信」第1号、第2号を送っていただき楽しく拝見しました。情報がいつも身近にあると心強いですね。早速ですが、FAXをお願いします。

3月11日の大震災の後、4月1日の北海道新聞で、小樽の玩具店「キンダーリープ」がお手玉を募集しましたので、早速手元にあった67個をおくりました。その時のニュースが新聞に掲載されましたので、同封します。また5月14日にも再び災害地に行くのでお手玉があつたらとのこと、80個と一般の知人も仲間です。ペレットを入れたお手玉を作っていますので110個あるとのこと、計190個わたしました。

何だかお手玉がこんなにも役立つのにとっても感動しました。これを切っ掛けに出来るだけ作っておこうと思い現在200個はありますが、いざという時に出来るように置いておきます。また本部でも受け付けるとの事なので今後は纏まり次第送りたいと思います。お手玉の効力はよく知っているの、何とか心のケアの役に立てたらと心から願っています。

岩内お手玉の会 会長 高橋 照子

し、5日から3日間、岩手県の学校など避難所7カ所を回った。避難所では、日中、多くの人ががれきの片付けなどに出かけ、高齢者が残されていた。杉本さんが「遊びのボランティアで来ました」と声をかけてお手玉を手渡すと、女性たちは歌を歌いながら器用に放り投げ、笑顔をのぞかせた。子供たちや大人も加わり、お手玉や木のブロック、積み木を囲んで遊びの輪ができた。杉本さんは「僕らにできるのは遊びだけ。それで人と人とのつながりができてよかった」と振り返る。移動は、スキヤリ(小樽銭函インターナショナル)から無償で借り受けたキャンピングカーを使用。杉本さんは15日から同店で活動報告のパネル写真展を開く。(竹中達哉)

上記の文は、

北海道岩内お手玉の会 会長 高橋照子さんからFAXでいただきました文面を、そのままご紹介させていただきました。

温もりを届けたい、手から心へ.....のメッセージは確実に広がっています。会員の皆さまには感謝いたします。